



果実とやすらぎの里・北海道仁木町

Niki

議会だより にき

No.126

令和2年2月6日発行

平成30年度

各会計の決算を認定

CONTENTS

第4回 新ブランド確立へ 補助を決定 **2**

Town NIKI assembly

定例会 町政のそこが聞きたい 一般質問 5人の議員が登場 **6**

道内の先進事例を学ぶ ～常任委員会研修視察～ **12**

計画的な整備を 一所管事務調査 **14**

議会HPは
コチラから
Check!



ストライク! (関連記事16ページ)

定例会のあらまし

第4回定例会は、12月19日に開会し、同日閉会しました。

町から、条例制定、条例改正、補正予算、事務委託、人事案件が上程され、全ての議案を可決しました。

また、第3回定例会で委員会付託した、平成30年度各会計決算認定は、委員会審査報告の後、採決した結果、すべての会計を認定しました。

議会からは、1件の条例改正と議員から2件の意見書を提出しました。一般質問では、5人の議員が登壇し、町長に考えを問いました。

令和元年
第4回定例会
12月19日

◇一般会計(第4号)
一般会計予算は、条例改正に伴う人件費、シャインマスカット冷蔵庫導入補助金、ふるさと納税特産品贈呈事業などによる増額補正や、町内施設の改修工事の完了など、各種事業終了による減額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

補正予算

新ブランド確立へ 補助を決定

◇国保特別会計(第3号)
全員賛成で可決

◇簡水特別会計(第2号)
全員賛成で可決

◇後期医療特別会計(第2号)
全員賛成で可決

◇一般会計(専決第2号)
全員賛成で承認

◇国保特別会計(専決第1号)
全員賛成で承認

質疑あれこれ

シャインマスカット冷蔵庫導入補助金をこの時期に補正した理由は、

産業課長 先進産地である長野県での取組を視察し、慎重に検討を重ね、導入するとの結論に至ったため、補助金の申請を行い、補助金交付について内定があったため補正した。

シャインマスカット冷蔵庫導入による費用対効果は。

産業課長 冷蔵庫の導入により、出荷時期を全国的な収穫期からずらし、年末年始で需要が高まる時期に出荷することで、高価格での販売が可能となった。効果は十分にあると考えられる。

産業課長 インターネットのサイト掲載費や返品品の費用である。積立額は当初3400万円程度を予定していたが、結果的には約1億4000万円程度の収入があり、それに関する返品品等の支出額は約7500万円だったため、最終的には約6500万円程度の積立が可能であると考えている。

シャインマスカット冷蔵庫導入補助金をこの時期に補正した理由は、



ふるさと納税特産品贈呈事業費用補正の内容は。ま

令和元年度各会計補正予算結果

補正額

予算総額

- 一般会計(5回目の補正) ※専決第2号
121万3000円減 37億5078万1000円
- 一般会計(6回目の補正)
6340万9000円増 38億1419万円
- 国民健康保険事業特別会計(3回目の補正) ※専決第1号
69万7000円増 2億191万8000円
- 国民健康保険事業特別会計(4回目の補正)
22万9000円増 2億214万7000円
- 簡易水道事業特別会計(2回目の補正)
6万8000円増 3億7108万1000円
- 後期高齢者医療特別会計(3回目の補正)
189万3000円減 7254万1000円



平成30年度決算

全ての会計を認定

決算認定

令和元年第3回定例会で決算特別委員会（上村委員長・宮本副委員長）に付託した、平成30年度各会計決算認定に係る審査報告について、上村委員長より報告がありました。

委員長報告の後、全会計の質疑を一括して行い、採決の結果、全ての会計を**全員賛成で認定**しました。

決算特別委員会審査報告

一般会計の歳出では、街路灯LED化の効果、地域おこし協力隊の活動状況、ヘルプマークの周知方法、不妊治療の効果、ブランド産地確立事業の内容、新規就農者の受け入れ状況、ワインツーリズム循環バスの効果、ふるさと納税特産品贈呈事業の対応策、除雪対策事業の実施状況、防災行政無線の活用法、スキー場の管理状況、学校給食の運営状況などについての質疑（確認）があり、歳入では、経常収支比率の動向と後志管内の状況、基金積立の概要、滞納者に対する差し押さえの状況などについての質疑（確認）があったが、討論はなく、採決の結果、賛成多数で「認定すべきもの」と決定した。

また、特別会計では、国民健康保険事業特別会計で、財政調整基金の取り扱いや、国保税の課税方法について、簡易水道事業特別会計で、水道の普及率、水道会計の運営状況と、一般会計からの繰り入れについて、後期高齢者医療特別会計では、過誤納となった保険料の還付方法についての質疑（確認）がそれぞれあったが、討論はなく、採決の結果、全特別会計を賛成多数で「認定すべきもの」と決定した。

条例改正

▼仁木町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
全員賛成で可決

▼特別職の職員で常勤のものとの給与等に関する条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町職員の給与に関する条例の一部改正
全員賛成で可決

▼報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町議会議員政治倫理条例の一部改正
全員賛成で可決

次ページは **第4回定例会の内容**

地方にも働き方改革を 職員管理に新制度

令和元年
第4回定例会
12月19日

条例制定

仁木町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

これまで、臨時的任用職員、非常勤職員は行政需要が高度化、複雑化する中で、各自自治体において公務の重要な担い手となっている一方、その任用方法や取扱いなどが明確に定められておらず、各団体において取扱いが異なるなどの課題がありました。これらの課題を解決するため、任用根拠などを厳格化し、統一的な取扱いを定め、適切な運用を図る制度として、会計年度任用職員制度を盛り込んだ「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」が平成29年5月に公布され、令和2年度から全国全ての地方公

共団体において本制度が導入されることとなりました。

本町においても、現行の臨時・非常勤任用職員について、給料、報酬などの給与面に関する規定を整備し、対応していくこととしており、施行に合わせた適切な運用を行うため、会計年度任用職員の給与や費用弁償に関する条例及び関係条例に係る整備条例を制定するに至りました。

▼地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

全員賛成で可決

▼仁木町地域公共交通活性化協議会設置条例の制定

全員賛成で可決

▼仁木町予防接種健康被害調査委員会条例の制定

全員賛成で可決

【会計年度任用職員のための主な変更点】

	現在	令和2年度から
	非常勤職員	会計年度任用職員
任期	1年以内	会計年度を超えない範囲 (最長1年)
賞与	なし	期末手当(条件あり)
昇給	あり	あり
特別休暇	忌引・病気等	忌引・病気・産前産後等
育児休業	なし	あり(条件あり)
人事評価	非対象	対象
分限	適用外	適用あり
懲戒	解雇のみ	適用あり

プレミアム付商品券を販売しています



佐藤町長の行政報告

10月1日から町内2か所の郵便局で販売し、12月6日時点で、商品券購入引換券交付枚数は総計で604枚となっております。引き続き、広報紙やホームページ等を通じ周知してまいります。

農作物の生産状況について

令和元年の気象は全体的に気温が高く推移し、積算降水量は平年の8%でした。

こうした天候の中、ミニトマトは高温による軟果の発生や、収穫作業の遅れ等が心配されましたが、4生産組合の取扱数量の合計は前年対比115%と伺っています。

また、本町を含めた後志の水稲の作況指数は101となり、干粒重は平年並み、一等米率は70%程度となりました。

サクランボは、着色が良好で糖度も高く平年を上回る良好な出来となり、全体収量は前年対比で140%程度と推計しています。

ブドウは、露地、ハウスとも収穫初めが平年より1週間以上早く、糖度の高い果実となりました。



岩井教育長の教育行政報告

全国学力・学習状況調査の結果報告

全国学力・学習状況調査結果が公表されました。本町の小・中学校ともに、全国平均と比較し、課題が見られた分野には対策を講じ、平均以上の項目には継続した取組が図られるよう、学校に対し指導や支援を実施していきます。

結果の詳細については、町のホームページに掲載しています。

妊産婦に手厚い医療の提供を！

妊産婦に対する 医療費助成制度の創設を要望

意見書



安心して子どもを産める環境が必要です

▼国による妊産婦医療費助成制度創設並びに、福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止を求める意見書
提出議員 嶋田 茂
賛成議員 門脇 吉春
平成30年12月に採択された成育基本法では、「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し、必要な成育医療等を切れ目なく提供する

ための施策を総合的に推進する」ことを目的に掲げている。
しかし、妊産婦が疾患や受診科目による制限のない受診が可能な「妊産婦医療費助成制度」の実施市町村は多くない。
成育基本法を裏りのあるものにするために、妊産婦が費用の心配なく医療を受けられる制度の創設を要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し関係機関に提出しました。

授業料減免制度の 水準維持を要望

▼授業料減免制度の現行水準を維持することを求める意見書
提出議員 上村智恵子
賛成議員 佐藤 秀教

令和2年4月から導入される高等教育の就学支援制度と引き換えに、現行の国立大学の授業料免除制度は廃止される予定である。これにより、これまで支援の対象だった

に通う学部生の一部は授業料が増加することが文科省の調査により明らかになっている。
新制度の基準により、今後入学する高校生等が大学進学をあきらめざるを得ない状況を防ぐためにも、授業料減免制度の現行水準の維持を要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し関係機関に提出しました。



授業料減免制度は
生徒の進学に大きく影響します

その他の議案

▼戸籍に係る電子情報処理組織の事務の委託について
全員賛成で可決

人事案件

人権擁護委員候補者
に**関さん**を再推薦

人権擁護委員候補者に関さんを再推薦することに対し、**全員賛成で適任**と答申しました。

◆人権擁護委員候補者

関 孝 心 さん
(銀山)

一般質問

第4回定例会の一般質問には、5人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。



さとう ひでのり
佐藤 秀教 議員

公共土木施設の維持管理について

7



のざき あきひろ
野崎 明廣 議員

本町が目指す農業とは

8



まろ なおゆき
磨 直之 議員

子育て環境の充実に向けた
保育士確保の施策は

9



かどわき よしはる
門脇 吉春 議員

本町における保育の現状と課題について

10



うえむら ちえこ
上村智恵子 議員

JR函館本線の存続について

11

町政のそこが聞きたい

こキボ一のなにに？

一般質問とは



一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。

一般質問の詳しい
内容はコチラから
Check!
(第4回定例会)



公共施設等の修繕計画の策定を

町長 計画策定の必要性は認識している



さとう ひでのり 議員
佐藤 秀教

町長 道路等のインフラ整備は経済活動の活性化や町民生

問 本町の公共土木施設等は老朽化が進んでおり、安全・円滑な交通の確保が重要だが、
①利用者の視点に立った施設の維持管理について
②災害に強い安全な施設の維持管理について
③施設の長寿命化の推進について
それぞれ町長の見解は。

問

本町の公共土木施設等は老朽化が進んでおり、安全・円滑な交通の確保が重要だが、

- ①利用者の視点に立った施設の維持管理について
- ②災害に強い安全な施設の維持管理について
- ③施設の長寿命化の推進について

建設課長 大江地区に位置する「七曲橋」は、親柱の鉄筋がむき出しで、高欄も錆が著しく、補修の時期だと考えるが、町の見解は。

問

大江地区に位置する「七曲橋」は、親柱の鉄筋がむき出しで、高欄も錆が著しく、補修の時期だと考えるが、町の見解は。

建設課長

令和3
4年

活の質を高める上で重要であり、

- ①道路パトロール等による路面の陥没箇所の補修や、河川整理などを状況に応じて対応している。
- ②豪雨による道路冠水対策や河川の氾濫防止対策など、災害に強い地域づくりを推進していく。
- ③「**仁木町橋梁個別施設計画**」に基づき、引き続き、橋りょうの修繕を実施する。

度に橋りょうの定期点検を実施し、結果に基づき「仁木町橋梁個別施設計画」の見直しを行い対応していく。

問

北町3丁目地内の「仁小前線」と「仁小中線」はパッチングによる補修も限界であると考え、町の見解は。

建設課長

路線の現状は把握している。路面はパッチングによる補修により維持に努めており、今後については、他の路線事業の目途がついた段階で検討する。

問

今後、健全な財政運営をする上で、

公共施設等の修繕計画を策定し、適宜点検・調査を実施し、適正な維持管理に努める必要があると考えるが、町長の見解は。

町長

今後、新たな総合計画の策定や過疎計画を策定する上でも、修繕計画の必要性は認識しており、どのように示していくかも検討しながら、提案につなげていきたい。



老朽化が著しい大江の七曲橋

ニキポーの仮に仮に？

仁木町橋梁個別施設計画とは



町民の交通を確保しつつ既存の橋梁を大切に使用するための、①適切な劣化状態の評価、②橋梁を長持ちさせるための工夫、③必要に応じた修繕の実施これら①～③の作業を効率的に行うための計画を策定しています。



のざき あきひろ
野崎 明廣 議員

農業育成支援事業の継続は

町長 町独自の支援策も検討していく

問 高齢による離農や後継者不足は全国的な問題となっているが、農業従事者の高齢化対策は。

町長 本町の農業従事者は半数程度が65歳以上であり、その多くの経営体では後継者もいない状況であるため、JA新おたるや農業委員会と連携し、担い手となる農業者に農地などの生産基盤を円滑に集積させるため、**農業経営基盤強化促進法**に基づく支援に努めている。

また、新規就農者の確保と定着を強力に推進している。

問 農業経営基盤強化促進法に基づく支援の効果は。

産業課長 離農された方の農地が、担い手となる農家へと集積が進み、経営規模の拡大に結び付

いていると考えられ、結果として農業生産額の増加などにより農家経済の向上が図られており、本町の経済の発展に大いに寄与されている。

問 ワイナリー経営を目指す人材育成として、地域おこし協力隊制度を活用しているが、活動終了後も本町に住みたいと思う隊員に対する支援体制は。

企画課長 協力隊の退任後は、自立して農業またはワイナリー経営に向かえるよう農業委員会や産業課と連携して、就農や定住に向けての相談・アドバイスを行っている。

問 仁木町総合計画実施工画では、地力増進対策費等の農業経営育成に関わる事業費が削減となっているが、補助に頼らない農業を目指すということか。

町長 農業振興に向け、地力増進対策やハウス助成を始めとした国の支援制度を活用しながら必要となる支援等は、これまでも行ってきたとおり、各制度については、進捗状況、普及定着の状況などを適宜把握した上で、選択・重点化を図っていく。

水田においては、農業の効率化を進める上で、区画面積の拡大などが必要となっていることから、今後も国や道の支援を受けるとともに、町としても独自の支援策をこれから検討してまいりたい。



農業経営基盤整備事業による畦畔除去の様子

ニキポーの森にほに？
農業経営基盤強化促進法とは
意欲ある農業者に対し、農用地の利用集積や経営管理の合理化等の措置を講じ、効率のかつ安定的な農業経営を育成するための法律です。

保育士確保の取組強化を

町長 確保に向けて本町の魅力を発信する

問 保育士を継続的に確保し、待機児童を無くすためにどのような施策を展開していくのか。

保育士を継続的に確保し、待機児童を無くすためにどのような施策を展開していくのか。

問 町内2か所のへき地保育所を活用すると、待機児童は解消されるのではないかと。

町内2か所のへき地保育所を活用すると、待機児童は解消されるのではないかと。



みんなが楽しみにしていた大江保育所のもちつき

町長 新規学卒者の本町保育所への就職が円滑に行われるよう、保育士を目指す学生が町内の保育所での実習に参加しやすくするために、宿泊施設の提供を行うなど実習生の受入体制の強化等について、引き続き保育園を始めとする関係機関と協議し、保育人材の確保に向けた方策を検討してまいりたい。

問 現在、待機児童が発生していることを改善しなければならぬ問題と認識しているのか。

住民課長 受入可能な人数だけで考えられると可能だが、保育所が開いている時間や通園にかかる時間、延長保育の実施等、様々な要素があるため、定員数に空きがあるからと言って、解消されるとは考えていない。

町長 本町で就職することの魅力や、仕事・生活環境におけるメリット等を町としても備えておく必要があると認識しており、どのような環境整備ができるのか、早急に検討してまいりたい。

町長 広域的に北後志で子どもを産む際の環境整備を連携して行っており、少しでも子育てしやすい環境づくりに向けて、今、様々な努力をしている。これを対外的にもPRし、本町ならではの魅力を伝えていかなければならないと考えているため、今後さらに、いろいろな部分で取組を前向きに行っていきたい。

新規学卒者の本町保育所への就職が円滑に行われるよう、保育士を目指す学生が町内の保育所での実習に参加しやすくするために、宿泊施設の提供を行うなど実習生の受入体制の強化等について、引き続き保育園を始めとする関係機関と協議し、保育人材の確保に向けた方策を検討してまいりたい。

現在、待機児童が発生していることを改善しなければならぬ問題と認識しているのか。

受入可能な人数だけで考えられると可能だが、保育所が開いている時間や通園にかかる時間、延長保育の実施等、様々な要素があるため、定員数に空きがあるからと言って、解消されるとは考えていない。

本町で就職することの魅力や、仕事・生活環境におけるメリット等を町としても備えておく必要があると認識しており、どのような環境整備ができるのか、早急に検討してまいりたい。

広域的に北後志で子どもを産む際の環境整備を連携して行っており、少しでも子育てしやすい環境づくりに向けて、今、様々な努力をしている。これを対外的にもPRし、本町ならではの魅力を伝えていかなければならないと考えているため、今後さらに、いろいろな部分で取組を前向きに行っていきたい。

住民課長 当然、解消しなければならぬ問題だと認識している。

当然、解消しなければならぬ問題だと認識している。

当然、解消しなければならぬ問題だと認識している。

当然、解消しなければならぬ問題だと認識している。

待機児童発生理由は、保育士不足と施設の狭隘化の2点である。

待機児童発生理由は、保育士不足と施設の狭隘化の2点である。

待機児童発生理由は、保育士不足と施設の狭隘化の2点である。

待機児童発生理由は、保育士不足と施設の狭隘化の2点である。

待機児童発生理由は、保育士不足と施設の狭隘化の2点である。

今年、保育所の定員50名に対し、当初から68名が入園している。

今年、保育所の定員50名に対し、当初から68名が入園している。

今年、保育所の定員50名に対し、当初から68名が入園している。

今年、保育所の定員50名に対し、当初から68名が入園している。

今年、保育所の定員50名に対し、当初から68名が入園している。



議員 直之 乃ゆき 磨 まる

今年、保育所の定員50名に対し、当初から68名が入園している。

今年、保育所の定員50名に対し、当初から68名が入園している。

今年、保育所の定員50名に対し、当初から68名が入園している。

今年、保育所の定員50名に対し、当初から68名が入園している。



かどわき よしはる
門脇 吉春 議員

制度改正による指定管理料の変更は

町長 次期更新までに処遇改善を検討したい

問 幼児教育・保育の無償化の開始に伴い、本町においては、にき保育園、大江・銀山へき地保育園、町外に通園されている幼稚園児の利用者負担はどのように変わったのか。

町長

3歳児以上の子どもにかかる保育料が無償となった一方で、認可保育所等を利用する3歳児以上の副食費が新たに保護者から徴収されることとなった。制度開始以前と比較すると、児童数53人、月額保育料約104万円が無償化の対象となっている。また、新たに保護者から徴収される副食費については、にき保育園は月額4500円に設定された主食費と合わせ、月額7000円を給食費として負担していただいている。

問 主食費及び副食費の助成を町独自で行わないのか。

住民課長

今回の保育料無償化で子育て世帯の軽減は図られており、今までは保育料の中に副食費が含まれていたことから、副食費を支払っていることは変わらない。

また、保育施設での給食に係る費用については、自宅で子育てを行う場合にも同様にかかる費用であることから、町独自で無償化することは考えていない。

ただし、負担が相対的に多くなる低所得世帯、多子世帯については、副食費徴収の免除規定もあり、十分配慮されていると考えている。

問

今回の無償化の対象外である0〜2歳児について、町独自の保育料の助成は実施しないのか。

住民課長

町では、現在でも3歳未満児について、①同時入所2人目以降を無償化、②一定所得以下の世帯の2人目以降を無償化、③19歳未満の子どもが3人いる場合は年少扶養控除を入れて計算、これらの取組を独自にしており、約300万円分の保育料が助成されている形となっている。

問

来年度から開始される会計年度任用職員制度の開始に伴い、町内へき地保育所の指定管理料は変わるのか。

町長

現在の指定管理者については、令和2年度までを指定管理期間としており、指定管理者募集時の収支計画書に基づいて指定管理料を決定しているため、会計年度任用職員制度の開始に伴っての指定管理料の変更は実施しない。ただし、保育の質の向上の観点から、保育士の処遇改善は非常に求められていると認識しているため、次の指定管理者更新までの間に、改善に向けて検討してまいりたい。



冬でも元気な銀山保育所の園児たち

JR函館本線の存続は

町長 自治体でできることは限られている

問 JR函館本線の存続について町長の見解は。

町長

様々な交通体系の可能性を考え、今後の選択肢を広げた上で、議論していく必要性があると感じている。

町長

各首長からは「スピード感を持って議論を進め、早く方向性を示してほしい。」「方向性を決めるには、専門家・有識者の助言が必要」「二次交通の整備をしっかりとすべきである」「自動運転を含めた新交通も視野に入れて議論すべき」など、多くの要望や意見が出された。

問

今後の方針などを確認した上で、改めて協議をしていこうという話になっている。

存続の可否については、町長だけではなく、地元の有識者や観光協会など経済界の人も含めて協議会を構成し検討すべきではないか。

町長

協議会は前倒しして、早い段階で実施している状況である。

問

北海道新幹線並行在来線対策協議会の議論の内容は。

問

7月22日に開催された後志のブロック会議の内容は。

企画課長

存続・廃止という部分に関しては、来年度に実際の乗降客に関する調査を実施し、その調査データやJRからの

企画課長

首長が出席する会議については年1回程度のペースで開催されているが、町村担当者の会議は、少し頻度が多く開催しており、その会議にはJRの方や振興局の方も出席している。

公共交通の扱いは非常に難しく、自治体でできることは限られているが、この協議会の情報については、公開できるものは皆さんと共有し、今後の鉄道の在り方について考えていければと思っています。



JR函館本線は町民の足として欠かせない存在です

ニキポーの仮に仮に？

北海道新幹線並行在来線対策協議会とは

北海道新幹線の開業に伴い、JR北海道から経営分離されるJR函館線について、北海道が沿線15市町村とともに組織し、地域交通の確保に関する検討を行う会議のことで、平成24年から継続して会議が開催されています。



道内の先進事例を学ぶ ～道南編～

子どもセンターの建設で

子育て環境の充実

胆振管内 壮瞥町



子育てに関する取組が充実しています

▼壮瞥町は、北海道の南西部に位置し、洞爺湖に面した農業を基幹産業とする町です。有珠山がある町としても有名ですが、多くの災害をもたらした有珠山を、観光や地熱資源、農業に活用するなどの取組を行っています。

壮瞥町では、子育て支援の取組を充実させており、子どもセンターの建設の他、中学生を友好都市であるフィンランドのケミヤルビ市へ全額公費で派遣したり、子育て世代が住みやすく、子育てに専念できるようにとの思いから、子育て応援住宅「コティ」の建設なども行っています。

また、今後「子ども・子育て支援条例（仮称）」を創設し、子育てに関する施策や事業を計画的に実施し、子育て支援を強化していく予定です。



子どもセンター建設の参考となりました

道南地域の気候を活かして

ワイン産地化に向けた取組を推進

渡島総合振興局

▼渡島は北海道の南西部、渡島半島に位置しており、約400キロの海岸線を有するのが特徴です。

渡島総合振興局では、道南の温暖な気候を利用したワインブドウの栽培に力を入れており、海外から講師を招き、道南ワインアカデミー栽培セミナーを令和元年8月に本町にて開催しました。その他、「醸造・販売セミナー」や「道産ワインと食材のペアリングセミナー」等、ワイン関連のセミナーを開催し、道南地域のワイン産地化に向けた取組を推進しています。

今後の展望として、セミナー開始から5年が経過していることもあり、セミナーのテーマを中級者向けに設定し、産地のメリットを活かすように、道南地域で盛り上げていく予定です。



本町でも、ワイナリー経営者の技術向上と定着の取組が重要です

道内唯一の第三セクター―鉄道事業者

並行在来線を存続

道南いさりび鉄道株式会社



鉄道経営の難しさを強く感じました

▼道南いさりび鉄道株式会社は、函館市に本社を置く、道内唯一の第三セクター方式の鉄道事業者です。

平成28年の北海道新幹線の開業に合わせ、並行在来線としてJR北海道から経営分離される江差線の運営を担うため、北海道や沿線の自治体等の出資により、平成26年8月に「北海道道南地域並行在来線準備株式会社」として設立され、翌年1月に「道南いさりび鉄道株式会社」に社名を変更し、現在に至っています。

開業当時は、担当者が沿線を歩いて魅力を探し、「みどころMAP」としてパンフレットを利用者に発信することや、停車駅の地元商店街と協力した車内販売等の実施、観光列車の「ながまれ海峡号」を特別運行するなど、独自の取組にも力をいれています。

小中一貫教育で

学力調査結果も向上

渡島管内八雲町



教育における地域の一体感を強く感じました

▼八雲町は、渡島半島の北部にあり、渡島総合振興局内では最大の面積を持ちます。

日本海と太平洋の2つの海に面している日本唯一の町としても知られており、農業、漁業、酪農業が盛んです。

八雲町では、平成29年度から小学校と中学校の課程を調整し、一貫性を持たせた体系的な学校制度である小中一貫教育を進めており、現在では、コミュニティスクール（地域参加型教育）を導入し、いわゆる小中一貫型コミュニティスクールを全中学校区に導入しています。

導入後の効果として、中学校へ進学する際のギャップの軽減や、目指す子ども像が地域で共有できること、教員の教育視野の広がりなどが挙げられ、平成30年度と31年度は、学力調査結果も向上しました。

～研修を終えて～

- ◆ 子どもセンターの建設だけではなく、様々な子育て環境の整備に関する取組も同時に進めていくことが重要だと感じました。
- ◆ 本町のワイン関連事業は、PR活動が主体となっていますが、生産者の技術の向上等に対する取組を実施し、基盤をしっかりとさせていく必要があると考えます。
- ◆ 並行在来線の存続は、沿線地域とも協議を重ね、財政負担の少ない最善な交通手段を選択していく必要があります。
- ◆ 本町の教育の中にも一貫教育等の良い要素は取り入れられており、今後もその良い部分を継続し、教育環境の整備を行っていけるよう働きかけていきます。

計画的な整備を

町内の道路状況を調査

令和元年 10 月 30 日に総務経済常任委員会所管事務調査を実施し、町道の状況について2グループに分かれて調査を実施しました。



町道…仁小中線

亀の甲のように亀裂がたくさ
ん入っており、パッチング（上
から舗装すること）で修復され
ているが、箇所が多すぎるため
に、路面の凹凸が目立つ。
仁小前線も同様の状態となっ
ており、今回の調査では最もよ
くない状態に挙げられた。
高齢者の手押し車等での通行
もあるため、早急に改善が必要
であると考えられる。



町道…前馬群別線

道路脇の樹木の枝が道路上部
に入り込んでおり、走行に支障
を来たしている状態である。
国道からスキー場に向かう町
道の光陽線も同様の状態であり、
枝が電線を巻き込んでいた。
車両の通行が多いため、樹木
を伐採する等の改善が早急に必
要であると考えられる。
このような箇所は町内他路線
でも多く見受けられた。



町道…大江4号線

一般的にあまり使用されない
道路ではあるが、設置されてい
るガードレールが変形してい
まっている。雪の重み等の影響
もあると考えられるが、その他
の路線でもガードレールが完
全に落ちてしまっている箇所や、
ガードロープが切れてしまっ
ている箇所も見受けられた。
危険な場所だからこそ設置さ
れるもののため、改善を要する。

今回の調査は、路面の
破損が目立つ町道が散見
されることや、「側溝の
流れが悪い」「道路沿
いの樹木が車道まで伸びて
いて危険」等の町民から
の意見があったことから
実施したものです。
委員会では、委員を仁
木地区調査グループと、
大江・銀山・然別地区調
査グループの2グループ
に分け、合計161路
線ある町道の路面や側溝
法面の状況等について調
査した後、各グループか
ら調査内容を報告し、現
在の町道の管理状況を再
確認しました。
今後、この調査結果を
基に、一般質問等で道路
の整備計画や維持管理の
方法について町側に確認
をしていくこととなります。



あれからどうなった？

質問のゆくえ

議会だよりでは、定例会での一般質問や町民の皆さんからの請願・陳情を掲載していますが、町政にどう反映されたのかを追跡調査しています。

ふれあい収集

質問 家庭ごみの戸別収集の実施を

平成30年第1回定例会

近隣市町村でも実施されている、一人暮らし高齢者や身体の不自由な方を対象に、ごみ収集担当職員が自宅を訪問し収集を行う「ふれあい収集」の実施を。

実施に向けて検討していく 答弁

各関係団体から情報収集を実施し、支援が必要な方の把握に努めるとともに、この事業を実施するにあたり、どのような方策をとっていくことが適切なのか、様々な可能性を探っていきたい。

あれから…こうなりました



「ふれあい収集」が本格的にスタート

日常のごみ出しが困難で、他からの協力が得にくい一人暮らしの高齢者や障害を持っている方を対象に、個別に訪問し、声かけによる見守り活動を行いながら、家庭ごみを回収する「ふれあい収集」を開始。平成31年4月からの実証実験を経て、本格的な運用をスタートしました。

給食試食会メニュー
しょうゆラーメン・チーズ入りいもち・
カップヨーグルト・牛乳 (773kcal)



おいしくいただきました

当日は、12月の献立表が資料として配布され、町民から贈呈されたかぼちゃを使用した「冬至献立」や、ケーキがつく「クリスマス献立」など、季節感のあるメニューが考えられていることに、食べる楽しさで食育の充実を図ることの大切さと、調理師さんの給食に対する熱意を改めて強く感じました。

12月19日に佐藤町長、林副町長、岩井教育長、原田代表監査委員、今井識見監査委員を招き、学校給食試食会を実施しました。この試食会は、学校給食の献立と調理の状況及び食味把握のため、平成18年より毎年実施しているものです。

学校給食試食会を実施
季節感のある献立
で食育推進

ギガイトピックス



インターネット環境の整備を

木村 公一 さん(大江)

連載18回目は、大江在住の木村さんファミリーを紹介します。奥様とお子さん3人の5人家族です。公一さんは、社会福祉法人後志報恩会で、奥様は余市町内の保育所でそれぞれ勤務されています。

◎ 仁木の子育て環境はどうですか。

中学生までの医療費助成制度はずっと継続してほしいです。ただ、小児科が近くになく、小樽市や倶知安町まで行くこともあるので、充実してほしいと強く感じます。通学面では、スクールバスを運行してくれて、とても感謝しています。

◎ 町に対して何か望むことはありませんか。

インターネット環境の整備を実施して欲しいです。子どもの成長と共に、必要性も増えてくるので、快適に使用できるような環境の整備を進めてほしいです。たまたに、インターネット環境を借りるに仁木地区まで行くこともありません。

また、野球場周辺の整備も行って欲しいです。せっかく良い野球場があるのに、周辺が整地されていないので、複数のチームが集まる大会になると、アップする場所がなく、子どものケガにつながるのではないかと心配しています。

～親子のつながり～



(取材・インタビュー 木村章生)

◎ 議会を傍聴したことはありますか。

仕事もあり、傍聴したことはありませんが、議会だよりはいつも読んでいます。

インターネットで配信されると見れるかもしれません。

◎ お子さんに対してメッセージを！

様々なことに挑戦し、元気にのびのびと仲良く育ってほしいです。

野球が大好きで活発な3人のお子さんはとても仲良し。

お子さんの高校通学の交通手段を心配していた木村さん。新幹線延伸による影響等も考えながら、仁木町の交通体系を見直す必要があると感じました。

次の議会は
3月定例会
(3月中旬開催予定)
ぜひ傍聴に来てください

第34回大江クリスマス会



まじのイベントを紹介!

大江地域の皆さん



サンタさんの登場に会場は湧きました

12月14日に開催された大江クリスマス会に参加させていただきました。この会は、昭和61年に大江学園が建設された翌年、初めて大江生活改善センターで開催されました。大江地域の子ども育成会と別々に行い、互いに誘い合っていたクリスマス会は、平成の初めに体育館が建設されたのをきっかけに、合同で開催するようになり、大江地域全体のクリスマス会が誕生しました。実行委員でもあり、会の歴史をよく知る加藤さんにお話をお伺いしたところ、「大江小学校の閉校による育成会の解散により存続が危ぶまれたが、地域の複数の組織で構成される地区学級や大江学園のおかげで続けることができました。また、大江連合町内会に、物心両面にわたりバックアップしていただいていることも心強い。今後も地域の方にもっと参加してもらえるようにやっていきたい。」と意気込みをお話いただきました。



実行委員のみなさん

会の中では、一週間で作成したとは思えないほどのスケールの大きい華やかな装飾が会場を包み、みんなで作りに上げ、参加し、楽しむという地域の結びつきの強さを感じることができました。大江地域では、クリスマス会の他に夏は運動会、冬には「ゆっくり歩こうスキー大会」等も開催しています。大江地域以外の方の参加も大歓迎とのことで、ぜひ町民の皆さんも一度参加してみてください。

(取材・記事 鷹直之)

- ◆ 編集・発行責任者
議長 横関 一雄
- ◆ 議会広報編集特別委員会
委員長 野崎 明廣
副委員長 木村 章生
委員 鷹 直之
委員 門脇 吉春

寄付行為の禁止
議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいません。ご理解をお願いします。